



院長の1分レクチャー8

【アトピーはアレルギーの始まり】

赤ちゃんの皮膚がガサガサしていたり赤くなっていたりするとアトピー性皮膚炎かもしれないと不安になりますよね。

最新の理論ではアレルギー物質が皮膚から入り込みさまざまなアレルギーを起こすことが分かっています。食物アレルギーや喘息も皮膚のガサガサがもとになっているのです。私は見て触れてその皮膚の状態を確認し、保湿剤、湿疹用の薬、ステロイド剤などを使い分けています。

中には「ステロイドって怖い」「やめられなくなるんでしょ」という保護者もいます。でも何が怖いのか、なぜやめたいのか、をうまく説明できる方は少ないようです。私は保護者の不安に寄り添いながら、分かりやすく説明して、ガイドラインに準じた治療を提供したいと思っています。（もちろん結果的にステロイド軟膏の治療を選択しないという意思も尊重します。）

10-15年後、子供が自らの意思で治療を選択できるようになったとき、その子のアレルギーが完成してしまっていたらどうでしょうか？子供たちの未来を守るために、私たちにできることを一緒に考えていきましょう。

- ① 皮膚が傷んでいるとアレルギーになりやすい。
- ② ステロイド軟膏はうまく使えばこわくない！

※「院長の1分レクチャー」はホームページや公式LINEアカウントからも読むことができます。



おおつか
こどもクリニック